

1. 基本情報

評価対象年度 (令和2 年度)

施策コード	432		施策名	商工業の振興
将来像	4	豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野)		
まちづくりの基本目標	43	産業によってにぎわいや活気を生み出すまち		
主担当部	市民環境部		主担当課	産業振興課

2. 施策の方向

10年後の姿	商工業者による自主的な経営改革が進められ、魅力ある事業や商店街創出のための努力が発揮されており、まち全体に活気が満ちています。		
施策の方向性	1	商店街の振興・活性化を図ります	
	2	まちに活気をもたらす新しい産業を育成します	
	3	商工業者の安定した経営を支援します	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和2年度決算額
市民まつり事業	1	企画課	-
起業支援事業	1、2	男女共同参画センター	3,404
子育てクーポン事業	1	子ども家庭支援センター	21,378
健康ポイント事業	1	健康推進課	14,521
商工会等育成事業	1、2、3	産業振興課	26,174
融資事業	1	産業振興課	3,246
総事業費(施策の合計)			68,723

4. まちづくり指標

指標情報				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度	
①	名称	商店街事業来場者数		目標値	90,000	90,000	30,000	82,000	91,000
	説明	商店街のイベント事業実施における来場者	単位 人	実績値	95,370	15,500(※2)			
	抽出方法	所管課統計		達成率	106.0%	17.2%			
②	名称	日常の買い物は市内の商店街を利用している人の割合		目標値	—	48.2	48.2	48.7	48.9
	説明	—		単位 %	実績値	48.0(※1)	48.1		
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	99.8%			

※1 平成29年度実績値

※2 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減と推測される

5. 評価(令和2年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり指標の目標値の実績については、イベントについては中止等の影響から目標を大きく下回る結果となったが、市内の商店街を利用している人の割合については、ほぼ目標値であるなど、新型コロナウイルスの影響が強く、達成状況を成果指標とすることが困難である。 ●エール飯事業、応援チケット事業及びがんばるお店応援キャンペーンにより、市内の消費喚起を実施し、商工業者への支援を実施した。 ●中小企業応援給付金事業などの各種事業やよろず相談事業を行うことにより、売上が減少した市内商工業者の厳しい経営状況の支援を実施した。 ●武蔵村山市との広域連携として「ひまわりストーリー」事業を実施し物産チラシや街歩きマップ等の作成を行いひまわりフェスティバルへの機運醸成と地域振興に努めた。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和2年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症拡大の観点から感染対策を講じての事業実施が必須となる。
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視する必要がある。
	課題に対する令和4年度以降の取組	事業実施にあたりコロナ禍の状況を踏まえつつ事業に取り組む必要がある。
②	施策を進める上での課題	厳しい社会情勢のなか事業者への安定的な資金調達に向けて事業融資のあっせんの充実を図る必要がある。
	課題に対する令和4年度以降の取組	東京都との連携を図り事業内容の充実に取り組む。
③	施策を進める上での課題	コロナ禍における事業者支援に取り組む必要がある。
	課題に対する令和4年度以降の取組	商工会や商店街等との連携を図り新規創業や事業継承など地域の実情にあった支援策を検討する。